



明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成31年 4月26日



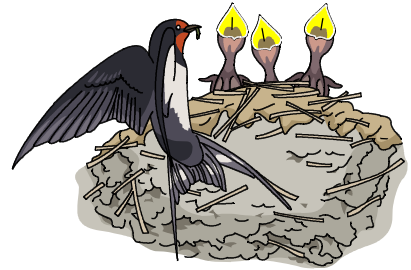
自然の中へ

4月も終わりに近づきましたが、学校では2年生が植えたチューリップがとてもきれいに咲いています。チューリップが咲く中庭には、多くの鳥が飛んできて私たちを楽しませてくれます。

ヒヨドリやイソヒヨドリはよく見かけるのですが、先日あまり見かけない鳥がいることがわかりました。図鑑で調べてみるとツグミのようです。何日も何日も続けてやってきてその存在感を示してくれました。その鳥を発見した先生は、「校長先生、いつもは見かけない鳥がいます。」と声をかけてくれたので見つけることができました。いつもよく観察している先生だからこそ気付いたのだと思います。鳥の名前がわかるとなぜか安心して、毎日様子を見守ることができました。

ツバメも毎年学校にやってきて、巣をつくります。明倫小学校に巣をつくるツバメはコシアカツバメで民家の軒下に巣を作るツバメとは少し違います。ツバメの色も違いますし作る巣の形も違います。他の先生とこの話をしていて「ツバメにそんな違いがあることを知りませんでした。」という人もいました。生き物に興味があつて、よく観察しているかどうかの違いで、知らない人もたくさんいるはずですよ。

明日から長い休みが続きます。外に出て自然を観察する機会にしてみてもいいのではないでしょうか。幸い明倫校区にはたくさん自然に親しむ場所があります。草花の違いを見つけたり、昆虫などの生き物を探したりして自然に親しむこともいいことだと思います。もちろん興味を持つ内容は、人それぞれ違っていいと思いますが、子どもの時に様々な場面に多く出会っておくことは、後で必ず役に立つはずですよ。素敵な発見、出会いを期待しています。



校長 池田 弘一

春の風物詩

先日、登校指導をしていると、生きたイサザを載せた軽トラックが目の前を通りました。明倫校区にある伊佐津川や高野川は産卵のため多くのイサザが上ってきます。ひよっとしたら漁をしている方に出会った人もいるかもしれません。イサザ漁は春の風物詩とも言われていますが、最近は漁獲量も減り漁をする人も少なくなったそうです。きれいな水の川だからこそイサザが上ってくるのですが、漁獲量が減っているということは気にかかります。いつまでも舞鶴の春の風物詩として私たちを楽しませてほしいものです。